



国際ロータリー第2780地区 第6グループ

厚木中ロータリークラブ 週報

2013-2014 第1731回 11月20日号

会長：中野正義 幹事：小島條太郎

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2F 例会場：レンブラントホテル厚木

TEL 046-222-5811 FAX 046-222-5821



◆ 卓話例会 by 山口光正会員 ◆



【陶山正人会員】…厚木3クラブ合同コンペでは足を引つ張りすみませんでした。ニアピン賞の獲得分だけスマイルします。

【松井岳也会員】…初のスマイル発表です。記念スマイルさせていただきます。



《 会 長 報 告 》

○ ガバナー事務所 より

・ 第6回新会員の集い

開催日：2014年2月14日(金)～15日(土)

場 所：箱根ホテル小涌園

・ 台風被災地伊豆大島・フィリピンへの援助協力依頼

・ インターアクト 海外研修参加案内

12月26日(木)～29日(日)台湾・台北 が届いております。

《 幹 事 報 告 》

○ 週報・厚木RC が届いております。

《 ス マ イ ル 》

【中野会長・斉藤副会長・西村会長エレクト・小島幹事・笹生副幹事】…寒くなりました。皆様お元気ですか。本日は野球同好会は神奈川県ロータリー野球大会に参加されています。本日は山口光正会員の卓話で「東日本大震災」です。よろしくお祈いします。11月24日、インターアクト年次大会が相洋高校であります。参加できる方はぜひ参加してください。

【建部 覚会員】…我が家の柿の収穫にスマイルします。

【三平治憲会員】…本日は所用のため早退させていただきます。

【出口義勝会員】…所用のため早退します。

【山口 昇会員・城所敏之会員】…先週の木曜日、本厚木カンツリークラブで開催された厚木3クラブゴルフ大会チーム戦において、我が厚木中クラブは堂々の2位に入りました。(最下位でも3位ですが・・・)。優勝できなかった埋め合わせでスマイルします。

《 卓 話 》



山口光正会員

大地震に関する歴史を見ると、先般の東日本大震災の発生は、残念ながら、近い将来における首都近圏での巨大地震の発生を暗示しているように思われます。また近年、台風の猛威は著しく、これまえとは次元の違う雨量に襲われることも覚悟しなければなりません。そのことを理解している以上、私たちは大地震や強力な台風などによる災害が発生した際に、自らの命を守り、被害を最小化するとともに、いち早く復旧できるための備えを怠ってはなりません。地域が災害に負けない強さと回復力を持つには、日ごろから地域自身の資機材・技術・能力でまちづくりを成し遂げられているかが一つの指標になるのではないかと思います。その意味で、日々のまちづくりの中に、防災対策の考えを織り込んで積み重ねていくことこそが、いざという時の力になるのではないかと考えています。



今日の山口会員による卓話は「東日本大震災」をテーマの国土交通省のDVD放映だった。国土交通省東北地方整備局が東日本大震災に伴う大津波が沿岸部を襲い、甚大な被害が発生したことから、県や自衛隊と協力して緊急輸送道路をくしの歯型につくり、「くしの歯作戦」が知られているようだ。ビデオではかの大地震と大津波の被害で寸断された箇所をいち早く道路啓開し、通行できるようにする作業を映し出していた。その現場に関わる方々の情熱と使命感に甚く感じ入った次第。

その中で新しく出会った言葉『啓開』は道路行政の中ではごくごく普通に使われているようだ。啓開、もともとは「障害を取り除き道を切り開く」の意味。

トピックス 1



11月14日厚木3RC親睦ゴルフ大会@本厚木カンツリー
チーム戦は厚木県央が1位でした。

トピックス2

わがクラブ創立35周年記念の際、記念講演をいただいた藤川享胤PGが東日本大震災被災遺児教育支援「ロータリー希望の風」プロジェクト協賛事業として埼玉県の行田RCが主催する「心をかたちに ころの講演会(3回シリーズ)」の2回目の講師を務めた。佐々木尚壽会員、城所敏之会員と3人で11月21日、行田に行って参りました。例会にもビジターとして参加。会津若松西RCでのメーキャップ以来の集団メーク。あたたかいおもてなしを受けました。「忘れかけている日本の心」と題しての藤川節はやはり素晴らしいものでした。藤川ファンが栃木県、千葉県、東京から駆けつけていました。次回の講演会は2月、講師は芥川賞作家でもある玄有宗久氏。これからはばらく「入りて学び、出でてさらに学ぶ」を実践したいと思います。



厚木を出て、圏央道を使っての行田ゆき。点鐘ぎりぎりには到着した。来訪者席に案内され、ついた席のお隣は東京臨海ロータリークラブの今井様。われわれが「2780地区」と知ると、ビジターカードの裏側に「後藤定毅PG、菅原光志PG、相澤光春DG、渡辺GE、よく知っています」と筆談で話しかけて来られた。講演会には最前列が予約席としてキープされており、福島伸悦行田RC会長はおもてなし精神で歓待してくださった。講演後の藤川享胤PGを囲むティータイムにもお招きいただいた。終始、紳士的なムード。ロータリーらしさが心地よかった。

パソコンで「けいかい」と打って変換すると、一番初めに出てくるのは「警戒」。その次は「軽快」だ。今回、初め知った言葉「啓開」は大人なことばだ。「こうよう」と打って最初に来るのは「紅葉」、次は「効用」そして「高揚」「広葉」「公用」と続く。日本語の面白い所だと思う。ロータリー専用語の「職業奉仕」は読み方は一つだが解釈は様々なよう。わからないことをそのままするのがイヤな性格なため真の意味を、「追求」「追及」「追究」したいと思うこのごろ。そうは言っても、意味のこと。実践はその次のステップになりそう…。 (や)